

つるおか芸文だより

コロナ禍での総会が開催される

第15回鶴岡市

芸術祭は中止！

令和2年度特定非営利活動法人鶴岡市芸術文化協会通常総会は、コロナ禍の令和2年6月9日に鶴岡市勤労者会館で開催された。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点



コロナ対応による通常総会

から、大勢の人が集まることを避けるために、会員の皆様には書面による参加（書面議決）を呼びかけ、当日は役員、議長、議事録署名人等の総会成立のため必要な最小限の会員が出席して行われた。

東山会長はあいさつで「コロナの影響から今年度の芸術祭は中止となるが、それに代わるより開かれた次世代の育成につながる文化芸術活動を展開し、市民との感動の共有ができるよう願っている。各加盟団体が持てる力を成長させていける土壌の豊かさを養ってほしい」と呼びかけた。

総会では、令和元年度事業活動報告並びに決算報告、令和2年度事業活動計画並びに活動予算、任期満了に伴う役員改選が原案どおり可決承認された。

今年度の事業活動計画には、芸術祭は中止とするが加盟団体の自主公演活動の支援と市民合同発表会等の開催の検討、次世代の育成支援として「こども文化クラブ」事業の実施、ホームページの開設運用、文化会館指定管理に向けタクトつるおか共同企業体として会館運営支援業務を受託・体制基盤の強化推進、などが盛り込まれた。また、役員改選後の理事の互選により、会長に東山昭子、副会長に後藤和夫、小林健郎、柿崎泰裕の3名が再任、五十嵐悦郎、加賀山捷三、鈴木千代女の3名が退任となる。報告され、滞りなく総会が終了した。

～希望の灯～ 市民芸術フェスタ2020



特定非営利活動法人
鶴岡市芸術文化協会
会長 東山 昭子

鶴岡市は困難な状況を迎えたとき、歴史的にいつも文化芸術の振興に拠って、美的感動を共有し、危機的状況を乗り越えてきた。今日に続く「合唱の街 鶴岡」もその継承発展に拠っている。精神文化の華を拓く活力で、人材を育て、経済を回し、ふるさとの原風景を護る揺るぎない活動を推進してきている。

新型コロナウイルス感染が世界的流行となり、先が見えないままに、予防のため、諸行事が全て中止され延期する自粛が続いた。鶴岡市芸文協会も「芸術祭」の中止を余儀なくされ、関連する諸事業の中止を決定した。事態を謙虚に受け止め、協力下さった会員や協賛者各位に篤く感謝している。特に若い方々の鬱屈した体力気力は、自粛が長く続くほど、その世代でなければ体験的に学べない多くを喪失させる。コロナ後を生き延びる活力を残したい。

芸術文化の根を枯らし絶やさず活動を進めたいが、会場の確保困難や三密回避で練習も十分ではない。先行きの不安もある。だからこそ、コロナと共存する時代に、総意で感染しないで済む工夫を積み上げ、感動を共有したい。積み重ねてきた「まちなかアート」の実行力を活かし、市民に開かれた喜びのステージを準備する「市民芸術フェスタ2020」は、希望の灯として設定された事業である。

令和2年度事業活動計画

令和2年4月1日から
令和3年3月31日まで

本年度は、山形県文化基本条例の趣旨を活かし、会員の一層の意識高揚と融和協調を図り、本市の文化芸術振興のため鋭意努力する。

1 事業実施の方針

- 令和2年度第15回鶴岡市芸術祭は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とするが、加盟各団体の自主公演活動を支援するとともに、今後の状況を考慮しつつ、市民に開かれた合同発表の機会を創出する事業の実施を検討する。
- 若い世代の育成支援として文化芸術の継

- 承発展のため「こども文化クラブ」事業を推進する。
- 本法人の事業内容の周知、広報につとめ、情報共有と新規会員の加入促進を図る。
- 令和3年度からの鶴岡市文化会館指定管理に向けて、タクトつるおか共同企業体として文化会館運営支援業務を受託し、体制基盤の強化を図る。

2 事業の実施に関する事項

特定非営利活動に係る事業

| 事業名 | 具体的な事業内容 |
|------------------------|---|
| 1 芸術祭の開催事業 | 鶴岡市芸術祭は中止とするが、加盟各団体の自主公演活動を支援するとともに、「鶴岡市民芸術フェスタ 2020」を企画・開催する（鶴岡市教育委員会との共催） 10月25日(日) 鶴岡市文化会館（荘銀タクト鶴岡） |
| 2 芸術文化創作活動、発表活動の振興事業 | 芸術文化活動、交流への支援としての後援承認等 |
| 3 加盟団体、会員相互の連携、交流・顕彰事業 | 功労者表彰規定に基づく表彰 |

| | |
|-------------------------------|--|
| 4 次世代の育成事業 | 市補助事業として「こども文化クラブ事業」の実施 |
| 5 会報発行等の広報活動事業 | 会報「つるおか芸文だより」の発行（年2回） 本会ホームページの運用 |
| 6 文化施設の整備促進、利用促進、管理・運営事業 | 文化会館管理運営支援業務の受託 |
| 7 各種芸術、文化に関する発表会、公演会等の共催、後援事業 | 会員が主催・共催する発表会、展示会および全市芸術的文化事業への協力（共催・後援） |
| 8 その他目的達成に必要な事業 | 庄内地区芸術文化懇談会への参加（担当：鶴岡市櫛引） 鶴岡市文化基金協議会運営への協力 市内芸術文化活動未加盟団体等の情報収集 |



| 特定非営利活動法人 鶴岡市芸術文化協会役員 |
|--------------------------|
| 会長 東山昭子 |
| 副会長 後藤和夫 |
| 副会長 小藤健郎 |
| 副会長 柿崎泰裕 |
| 理事・事務局長 榊原賢一 |
| 理事 梅津芳春 |
| 理事 渡部千代子 |
| 理事 高波正喜 |
| 理事 難波一薫 |
| 理事 三井美彦 |
| 理事 布部真由美 |
| 理事 佐藤真由美 |
| 理事 渡部康 |
| 監事(新) 松本武雄 |
| 監事(新) 渡部康 |

芸術委員会委員

| | |
|----------------|---------|
| 黄雞鶴岡歌会 | 東山 暁子 |
| 羽黒芸術文化協会 | 後藤 和夫 |
| 裏千家淡交会庄内支部鶴岡地区 | 小林 宗健 |
| 鶴岡土曜会混声合唱団 | 小 林 宗 健 |
| 鶴岡市芸術文化協会事務局長 | 柿崎 泰 裕 |
| 山形県大正琴・文化箏愛好会 | 榊原 賢 一 |
| 朝日芸術文化協会 | 梅津 芳 春 |
| 藤島芸術文化協会 | 渡部 千代子 |
| 鶴岡市芸術文化協会 | 高山 千代子 |
| 日本九重流鶴城清吟会 | 難波 正 喜 |
| 書道研究飛雲会 | 三井 美 彦 |
| 草月流山形県支部鶴岡地区 | 渡部 康 |
| 劇団だいこん座 | 布川 珀 翠 |
| 鶴岡書道会 | 佐藤 真由美 |
| 日本九重流鶴城清吟会 | 渡部 康 |
| 藤島芸術文化協会 | 松本 歆 洲 |
| 羽黒芸術文化協会 | 阿部 義 郎 |
| 羽黒芸術文化協会 | 齋藤 兼 夫 |
| 羽黒芸術文化協会 | 齋藤 兼 夫 |
| 櫛引芸術文化協会 | 上林 武 子 |
| 朝日芸術文化協会 | 佐藤 治郎作 |
| 朝日芸術文化協会 | 清和 梅 子 |
| 朝日芸術文化協会 | 渡部 祐 子 |
| 朝日芸術文化協会 | 荒木 利 充 |

鶴岡市芸術文化協会 功 勞 者 表 彰 (令和2年度)

芸文協の運営・振興に貢献された3名の方々



功 勞 者 賞

淡井会代表

山 本 淡 井 氏

淡井会を発足以来代表として民謡と尺八の普及、会員をはじめ他の愛好者の指導など献身的に活動してこられました。民謡の更なる普及発展にかける情熱と真摯な態度は他の範となり、芸術振興に多大な貢献をされました。



功 勞 者 賞

特定非営利活動法人鶴岡市芸術文化協会理事
山形県大正琴・文化筆愛好会代表

梅 津 芳 春 氏

山形県大正琴・文化筆の代表として長年会の発展に尽力されました。また、芸術文化協会理事・事務局長として、特定非営利活動法人の設立・運営に多大な貢献をされました。



功 勞 者 賞

元龍生派代表

飯 田 行 翠 氏

龍生派の代表として長年会を支えてこられ、各流派合同いけばな展開催にも尽力されました。生け花に対する姿勢と情熱は若い方の手本でもあり、華道文化発展に多大な貢献をされました。

令和元年度(第57回) 県民芸術祭の奨励賞を受賞

「如月会水墨画展」

10月24日(木)~27日(日) 鶴岡市中央公民館



年々、作品の質が向上しているので今回の賞に繋がったのではないかと思う。これを機に、また新たに水墨画を始める人が増えることに繋がれば良い。これからも一層励んでいきたい。

如月会 代表 梅本 幸仙

退任役員

- 五十嵐 悦郎 様
- 加賀山 捷三 様
- 鈴木 千代女 様

大変お疲れ様でした

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------|-----------------|--------------|---------|-----------|-----------------|----------------|--------|--------|--------------|-----------|-----------|------------|--------|-------------|------|------|-------|----------------|---------|---------|---------|--------|-------|----------|------|
| Viviバレースタジオ | 表千家同門会山形県支部庄内地区 | 草月流山形県支部鶴岡地区 | 小原流鶴岡支部 | 古流松應会庄内支部 | 表千家同門会山形県支部庄内地区 | 裏千家淡交会庄内支部鶴岡地区 | 表現舎刻一刻 | 吉統舞踊学園 | 鶴岡ウインドオーケストラ | 鶴岡響友会吹奏楽団 | 鶴岡放送児童合唱団 | 鶴岡土曜会混声合唱団 | 田川民話の会 | 剣聖流剣詩舞鶴岡剣聖会 | さざ波会 | 柏樹流 | 鶴岡竹友会 | 錦心流琵琶全国一水会鶴岡支部 | 書道研究飛雲会 | 鶴岡小品盆栽会 | 庄内写真研究会 | 白雲社 | 稲京短歌会 | 温海芸術文化協会 | |
| 佐藤京子 | 小林達夫 | 加藤千香 | 宮田真由美 | 古本理暁 | 豊田宗文 | 富樫宗富 | 佐藤正一 | 吉續正義 | 加藤公明 | 堀公明 | 伴和香子 | 阿部淳二 | 帯刀春男 | 佐藤和子 | 佐藤睦 | 柏樹京徳 | 佐藤晃 | 市川清治 | 富樫星翠 | 上林節男 | 佐藤時彦 | 五十嵐千恵子 | 佐々木秀子 | 高井美智子 | 本間庸枝 |

鶴岡市民 芸術フェスタ2020

～伝統を引継ぎ
新しいステージを創る～



フェスタスケジュール

日時 令和2年10月25日(日) [開場] 9:00
[開演] 9:30 [終演予定] 18:00

会場 荘銀タクト鶴岡 (※要入場整理券)

【第1部】 9:35～ 邦楽・日舞・吟詠・民謡・民舞・カラオケの部 (15団体)

【第2部】 13:00～ 舞踊の部 (9団体)

【第3部】 15:15～ 演劇・合唱・洋楽の部 (12団体)
～出演36団体(予定)～

フェスタの観覧および入場整理券の取扱いについて

□マスク着用、手指消毒等の新型コロナウイルス感染症対策にご協力のうえ、観覧ください。なお、観覧者については、庄内在住の方に限らせていただきます。

□フェスタは部門ごと3部構成(1部・2部・3部)で開催します。観覧には、それぞれの部の入場整理券(座席指定)が必要で、「1人各部2枚まで」配布します。

□観覧者の方は、入場整理券の裏面(もぎり半券)に、氏名・住所・電話番号を必ず事前に記入し、当日持参のうえ各人でもぎり入場してください。

□当日の入場整理券の取扱いはありません。

【入場整理券取扱い先】(※電話予約不可)

◆荘銀タクト鶴岡

◆NPO法人 鶴岡市芸術文化協会(鶴岡市櫛引庁舎内)

新型コロナウイルス感染症の影響によって、令和2年鶴岡市芸術祭は中止となりましたが、そんな中でも歩みを止めずに、発表の機会を創出していききたいとの思いから芸術フェスタ2020実行委員会を組織し、荘銀タクトにおいて、10月25日(日)に開催を計画しております。テーマは「伝統を引継ぎ新しいステージを創る」です。コロナ禍に心折れない強さで立ち向かう元気を呼び込み、芸術文化の力により意欲や活力の向上発揮を願い、感動の共有によって、芸術文化の根を絶やすことなく高校生・未加盟の仲間の皆さんを含め、市民交流の祭典にして

イベント等の開催については、安心して演奏等を市民の皆様にお楽しみいただけるように、ガイドラインに基づく適切な感染防止策を徹底して対応して参ります。よって、これまで私共が経験したことのない「新しい生活様式」の定着により使用できる楽屋や観客席に制限があるなど、今後の状況の変化に取り組みます。それでも様々な諸課題を乗り越え、芸術文化に携わるすべての方々への英知を結集して、やって良かったと思われるフェスタ2020に鋭意努力してまいりますので、是非ともご協力をお願い申し上げます。

(実行委員長 梅津芳春)

ホームページ開設のお知らせ

今年度、広報活動事業の一環として、鶴岡市芸術文化協会のホームページを開設、8月から運用開始しています。

当ホームページでは、芸術文化協会の概要や活動内容、芸文だよりなどを紹介し、情報を発信しています。また、協会からのお知らせとともに、会員の催し物情報も掲載しておりますので自主公演や展覧会などの情報をぜひお寄せ下さい。

●ホームページアドレス

<https://tsuruoka-geibun.or.jp>

トップ画面のQRコード



ホームページのトップ画面

令和2年度 こども文化クラブ事業について

◎こども文化クラブ事業の計画

鶴岡市の総合型文化クラブ事業補助を受けて2年目となる「こども文化クラブ事業」は、子どもたちが芸術文化に触れ親しむ機会を通じて、豊かな心と感性を育み、次世代への継承・発展につながることを期待している。

今年度はコロナの感染拡大が心配されたなかで、市中央公民館との共催事業として、市内全域の小学校児童を対象にした邦楽（尺八、文化箏）の体験講座を6〜7月に開催した。また、地域の放課後子ども教室と連携した講座は、7月にスタートし来年2月まで12分野での予定が組まれている。子どもたちに人気のある茶道の講座がコロナの影響から開催できないのは残念であるが、新たな分野として演劇の講座が予定された。地域との連携では新たに、湯野浜地区と鼠ヶ関地区の放課後子ども教室からの受講希望があり、地域の広がりが出てきたことは嬉しい。子どもたちが活動の成果を発表する



【華道】ねずがせき放課後子ども教室



【文化箏】市中央公民館

事業内容

機会をつくりながら、達成感を味わい、自信につながることを期待している。講師やアシスタントとして関わっていただく加盟団体の皆さんにはご協力をよろしく願いたい。

1 鶴岡市中央公民館共催事業

①実施日 6月20日(土)、7月4日(土)、7月18日(土)

②分野 尺八、文化箏

③会場 鶴岡市中央公民館

2 放課後子ども教室連携事業

①実施日 令和2年7月から令和3年2月まで

②分野 短歌、ちぎり絵、造形、絵画、尺八、文化箏、詩吟、民話、音楽、フラダンス、演劇、華道

③会場 放課後子ども教室開設場所

(8地区) 上郷、三瀬、由良、大山、西郷、櫛引西、湯野浜、鼠ヶ関

鶴岡市文化会館の指定管理に向けて

令和元年9月に鶴岡市文化会館の指定管理者の指定を受け、令和2年4月より、鶴岡市開発公社との共同企業体「タクトつるおか共同企業体」による新体制で、来年度からの指定管理の本格始動に向けて準備を進めております。

今年度は指定管理開始までの重要な

引継ぎ期間として、直営から指定管理への移行に係る業務や、新スタッフの育成、管理運営や事業企画のスキルアップなど、令和3年4月からの指定管理による運営が円滑にスタート出来るよう、開発公社と共同連帯して文化会館支援業務を行っているところです。

また、新型コロナウイルスの影響により、この約5か月間、荘銀タクト鶴岡で開演予定だった公演の多くが中止、あるいは延期を余儀なくされ、通常の施設運営を行うことが厳しい状態ではあります。この未曾有の事態を好機と捉え、公演再開に向けたコロナ対策に係る実証実験や動画配信事業など、新しい事業の実施に積極的に取り組んでおります。

今、文化芸術にとって危機的な状況ではありますが、文化会館が市民の文化活動を支える土台となるべく、そして市民に寄り添った管理運営を目指し、より一層の努力を重ねて参ります。

(タクト鶴岡共同企業体 軍司愛)

コロナ対策実証実験 — 合唱公演を事例として — 2020年7月4日 荘銀タクト鶴岡



特定非営利活動法人 鶴岡市芸術文化協会 部門別加盟団体・地域芸術文化協会一覧 (66団体)

| 地域・部門 | 団体名称 | 代表者 | 電話 |
|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 地域 | 藤島芸術文化協会 | 阿部 義郎 | 64-2111 |
| | 羽黒芸術文化協会 | 齋藤 敬 | 62-2111 |
| | 櫛引芸術文化協会 | 難波 正喜 | 57-2111 |
| | 朝日芸術文化協会 | 渡部 巖 | 53-2111 |
| | 温海芸術文化協会 | 本間 庸枝 | 43-4611 |
| 文芸 | きたぐに短歌会 | 市川 照夫 | 22-2195 |
| | 黄雞鶴岡歌会 | 東山 暁子 | 22-5991 |
| | 稲京短歌会 | 佐々木 秀子 | 23-9665 |
| | 俳誌「月山」鶴岡支部 | 阿部 月山子 | 64-5302 |
| 美術 | 白鸚社 | 小林 功 | 64-4389 |
| | 鶴岡書道会 | 佐藤 政一 | 22-8810 |
| | 畊雅会 | 阿部 律子 | 23-1323 |
| | 鶴岡小品盆栽会 | 上林 節男 | 22-1935 |
| | 如月会 | 梅本 幸仙 | 33-3425 |
| | 鶴岡和紙ちぎり絵サークル | 小澤 紀美 | 24-6701 |
| | 庄内写真研究会 | 佐藤 時彦 | 24-3285 |
| | 鶴岡さつき盆栽研究会 | 岡部 誠 | 24-7844 |
| | フォトサロン写楽 | 岡崎 利男 | 22-2803 |
| | 書道研究飛雲会 | 渡部 飛雲 | 22-2344 |
| | NHK文化センター写真教室 | 菊地 勝春 | 25-3998 |
| | ◎K・I・Y | 山澤 昭彦 | 22-1784 |
| | 邦楽 | 錦流琵琶全国一水会鶴岡支部 | 市川 清治 |
| 宝生流鶴岡五雲会 | | 上林 清一 | 22-1501 |
| 山形県大正琴・文化箏愛好会 | | 梅津 芳春 | 22-0770 |
| 鶴岡竹友会 | | 佐藤 晃 | 23-9028 |
| 高橋理香箏アンサンブル | | 高橋 理香 | 090-9425-8824 |
| 荘内竹道会 | | 渡部 滋人 | 23-9139 |
| 庄内謡曲愛好会 | | 相馬 一廣 | 64-4791 |
| ◎佳興の会 | | 岡 政雄 | 23-3074 |

| 地域・部門 | 団体名称 | 代表者 | 電話 |
|-------|-----------------------|----------|---------------|
| 日舞 | 藤静会 | 藤間 静貴久 | 22-1746 |
| | 柏樹流 | 柏樹 京徳 | 24-3684 |
| | 千川流 | 千川 貴楽 | 0234-24-4516 |
| 民謡・民舞 | さゞ波会 | 佐藤 睦 | 35-3115 |
| | 淡井会 | 山本 淡井 | 24-5447 |
| 吟詠 | 日本九重流鶴城清吟会 | 松本 歆洲 | 23-9538 |
| | 九重流詩吟学会朝陽清吟会 | 百瀬 皓洲 | 23-1344 |
| | 剣聖流剣詩舞鶴岡剣聖会 | 佐藤 昌直 | 23-8510 |
| 民俗芸能 | 田川民話の会 | 帯刀 春男 | 53-2617 |
| 洋楽 | 鶴岡土曜会混声合唱団 | 阿部 淳二 | 23-9997 |
| | 鶴岡放送児童合唱団 | 伴 和香子 | 22-6399 |
| | バウムクーヘン | 中澤 牧子 | 64-2779 |
| | スイング・クレインズ・ジャズ・オーケストラ | 橋本 祥造 | 25-0702 |
| | 男声合唱団デザミ・アンティム | 菅原 求 | 22-5068 |
| | 鶴岡吹奏楽団 | 前田 政文 | 57-3996 |
| | 鶴岡響友会吹奏楽団 | 堀 公明 | 22-5602 |
| | 鶴岡ジュニアオーケストラ | 深澤 康之 | 22-9484 |
| | 鶴岡ウインドオーケストラ | 加藤 聡 | 25-3227 |
| | 鶴岡江戸川交流合唱団 | 滝沢 元 | 25-2532 |
| | ◎アンサンブル チコーニア | 安田 淳子 | 62-3961 |
| 洋舞 | 吉統舞踊学園 | 吉續 正義 | 22-5968 |
| | V i V i バレエスタジオ | 佐藤 京子 | 22-1667 |
| | ハウオリ フラストジオ | ハウオリマルヤマ | 090-5833-4083 |
| 演劇 | 劇団いでは | 大館 一治 | 53-3052 |
| | 劇団だいこん座 | 佐藤 秀樹 | 23-5735 |
| | 表現舎刻一刻 | 佐藤 正一 | 73-3153 |
| 茶道 | 大日本茶道学会鶴岡支部 | 熊田 広樵 | 22-1256 |
| | 裏千家淡交会庄内支部鶴岡地区 | 小林 宗健 | 22-9948 |
| | 表千家同門会山形県支部庄内地区 | 豊田 宗文 | 64-2441 |
| | 遠州流茶道山形支部 | 堀 宗敬 | 73-2148 |
| 華道 | 古流松應会庄内支部 | 古本 理暁 | 24-6590 |
| | 一般財団法人 小原流鶴岡支部 | 宮田 眞由美 | 62-2884 |
| | 草月流山形県支部鶴岡地区 | 加藤 千香 | 0234-22-0610 |
| | 池坊 | 佐藤 瑞峯 | 25-2590 |
| | 遠州山形支部 | 中野 美千 | 22-7757 |
| | 龍生派 | 飯田 洛翠 | 66-2304 |
| | 華道栖草流鶴岡支部 | 庄司 栖和 | 23-8704 |

編集後記

今年度の役員改選により、編集委員が代わり新たな体制で行うこととなりました。

コロナ禍で全ての行事が自粛したり中止となり当協会の最大イベントである芸術祭も中止となった。多くの市民が楽しみにしていたことと思うと残念でならない。芸術文化の火を消さないようにとの思いで、市民芸術フェスタ2020が開催されることとなった。

会員以外の方々にも多数参加申込みいただき盛大に開催できることは、市民の方々の文化レベルの高さを感じる事ができます。この地域でコロナ感染者が発生しないで、フェスタが無事終了できることを願うばかりである。

(小林健郎)

◎印は新規加盟団体 (令和2年9月1日現在)